

学会に行ってきました！

国際医療福祉大学学会・日本看護学会【慢性期看護】・日本看護学会【急性期看護】・日本看護学会—ヘルスプロモーション—・栃木看護学会学術集会

今年は、合計5題の看護研究を発表しました。看護研究をまとめる過程は大変でしたが、発表後の達成感は格別です♥♥

国際医療福祉大学学会

「家族が患者の履物を選ぶ際の認識について」



リハビリ病棟入院中の患者の履物選びは、患者・家族と看護師では認識に差がありました。看護師は転倒予防の履物の選択、患者・家族は履きやすい履物の選択になっていました。結果を入院時のオリエンテーションに活かしていきたいです。



日本看護学会 —慢性期看護—

「認知症者に対するアロマセラピーを用いた睡眠への取り組み」



認知症患者の、日常生活リズムを整えるため、アロマセラピーを導入し朝・夕のケア時にアロマオイルを使用しました。

その結果、不穏状態の緩和、睡眠時間の確保に繋がりました。

福島県



日本看護学会 —急性期看護—

「消化器外科術後のドレーンに対する意識調査～患者と看護師の認識の違い～」



患者と看護師では術後のドレーン類の「からまり」の認識に差があることがわかりました。この認識の差をなくし、ドレーントラブルの軽減を図っていきたいと思います。

愛媛県



日本看護学会—ヘルスプロモーション—

「地域中核病院に働く看護師の仕事と生活の割合に関する意識調査」



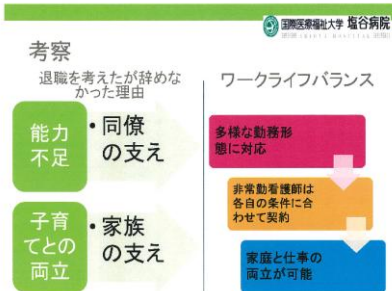
看護師の各年代において仕事と生活の割合で現実と理想と差があったりしました。仕事にやりがいや充実を見出すことが理想のWLB実現の第一歩とすることがわかりました。

富山県



栃木看護学会学術集会

「看護師が働き続けられる要因—A 病院外来看護師アンケート結果からの検討—」



看護師は、周囲のサポート、支えがあって働き続けることができます。そのため環境を整えることが魅力ある職場づくりに繋がります。